

1 トマス・ジェファソン 本を愛し、集めた人



- ① バーブ・ローゼンストック/文
ジョン・オブライエン/絵
渋谷弘子/訳
- ② さ・え・ら書房
- ③ 1400円
- ④ E

アメリカ独立宣言を書き起こした第3代アメリカ合衆国大統領トマス・ジェファソンは、本をこよなく愛した人でした。生涯にわたって本を読み、学び、本を集めたジェファソンの半生を描いた伝記絵本です。ジェファソンが残した言葉からは、本を誰よりも大切に思う気持ちが伝わってきます。

2 ネルソン・マンデラ



- ① カディール・ネルソン/作・絵
さくまゆみこ/訳
- ② 鈴木出版
- ③ 1900円
- ④ E

アパルトヘイトという人種差別政策をとっていた南アフリカで、憎しみと差別をなくすために立ち上がったネルソン・マンデラの姿を描いた絵本です。肌の色の違いに関係なくすべての人間が平等であると信じるネルソン・マンデラの感動的な言葉と美しい絵が深く印象に残る一冊です。

3 ヒートアイランドの虫たち



- ① 藤原幸一/写真・文
- ② あかね書房
- ③ 1300円
- ④ E

都市が暖くなる「ヒートアイランド現象」のなか、暮らせる範囲が広がり南から北上してきたクマゼミ、冬でも気温が高く幼虫のときに早く育ってしまうために小型化するカブトムシなど、都会でたくましく生きる虫たちの姿が迫力ある写真とともに描かれています。

4 マッチ箱日記



- ① ポール・フライシュマン/文
バグラム・イバトゥーリン/絵
島式子・島玲子/訳
- ② B L 出版
- ③ 1600円
- ④ E

子どもの頃文字が書けなかったので日記のかわりに思い出の品をマッチ箱に入れていたひいおじいさん。そのマッチ箱をひとつずつ開けながら、思い出をひ孫に語ります。「貧しさ」「働くこと・学ぶこと」「差別」など、様々なテーマをリアルで優しい絵とともに届けてくれる一冊です。

5 笑顔の架け橋
佐野有美～手足のない体に生まれて～



- ① 藤本美郷/文
- ② 佼成出版社
- ③ 1500円
- ④ 28サ013

「先天性四肢欠損症」という手足がほとんどない障害をかかえて生まれてきた佐野有美さん。それでも「みんなに元気や勇気を分けて、笑顔にすること。これが神様からさずかった自分の役割」という強い信念を持ち何事にも一生懸命取り組みます。生きる事の意義を考えさせられる一冊です。

6 富士山のふしぎ100
～日本一の山 世界遺産・富士山のなぜ～



- ① 富士学会/監修
尾形真隆/ほか写真
- ② 借成社
- ③ 1800円
- ④ 29カ014

ユネスコの世界文化遺産に登録された富士山について、自然・環境、気象・風景、文化・歴史、登山・観光などのテーマから100の疑問や質問を選び、美しい写真とわかりやすい文章で答えています。様々な角度から富士山を知ることができる本です。

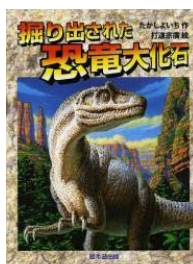
7 光と音のない世界で
盲ろうの東大教授・福島智物語



- ① 池田まき子/著
- ② 岩崎書店
- ③ 1400円
- ④ 36イ014

3歳で右目が、9歳で左目が見えなくなり、さらには18歳のときに耳が聞こえなくなった福島智教授。そんな困難を抱えながら、日本で初めて「盲ろう者」として大学へ進学。さらに研究を続け東京大学の教授となった福島教授の生い立ちから現在までの前向きに人生を切り開いていく姿が描かれています。

8 掘り出された恐竜大化石



- ① たかしよいち/作
打道宗廣/絵
- ② 絵本塾出版
- ③ 1300円
- ④ 45タ013

恐竜の化石発掘についてわかりやすい内容です。はじめて日本に恐竜の化石を持つてくるための働きかけをした人の思いや、それを実現していく様子について書かれています。また、恐竜「アロサウルス」についても詳しく知ることができ、恐竜への興味を広げてくれる一冊です。

9 いのちの花
ペットの殺処分0を願う女子高生たち



- ① 綾野まさる/作
水沢そら/画
- ② ハート出版
- ③ 1300円
- ④ 64ア014

動物愛護センターを訪ねた女子高生たちは、犬たちが無責任な飼い主のために殺される現実を見てショックを受けます。「高校生として命と向き合いたい」と考えた女子高生たちが、殺された犬たちの骨を肥料にして花を咲かせる活動を始めます。殺処分0をめざす女子高生の姿から命について考えさせられます。

10 しあわせになった捨てねこ



- ① 今西乃子/原案
青い鳥文庫/編
- ② 講談社
- ③ 620円
- ④ 64イ014

捨てねここと里親を結びつける保護ボランティアの物語です。捨てねこを家族に迎え入れた里親家族たちの様子、捨てねこを減らすための保護ボランティア活動の様子について詳しく書かれています。自分たちのまわりにいる動物の命について深く考えるきっかけとなる一冊です。

11 七夕の月



- ① 佐々木ひとみ/作
小泉るみ子/絵
- ② ポプラ社
- ③ 1000円
- ④ 91サ014

少年のひいおばあちゃんは、長い間仙台の七夕まつりを守ってきました。また、震災直後からずっと開催に向けて奮闘してきました。ひいおばあちゃんの想いを描きながら、それを受け継ごうとする二人の少年の姿が描かれています。伝統行事を次の世代が引き継いでいく大切さを感じさせてくれます。

12 あの日とおなじ空



- ① 安田夏菜/作
藤本四郎/絵
- ② 文研出版
- ③ 1200円
- ④ 91ヤ014

沖縄戦をテーマにした物語です。3年生のダイキは夏休みに沖縄のひいおばあちゃんのところに行き、戦争の話をしたときにひいおばあちゃんの笑顔が消えてしまいました。何があったのでしょうか。戦争を自分のものとして考えることや平和とは何かを考えさせてくれる一冊です。

13 ふふふ



- ① 山本純子/著
ルイコ/絵
- ② 銀の鈴社
- ③ 1200円
- ④ 91ヤ014

子どもたちにもわかりやすい言葉で書かれ、共感をもって読むことができる作品がたくさんつまっている詩集です。タイトルのとおり、思わず「ふふふ」と感じる詩の数々が、子どもたちに豊かな詩の世界を届けてくれることと思います。

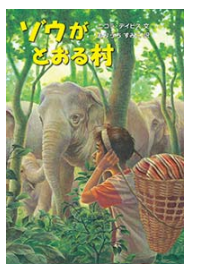
14 お話きかせてクリストフ



- ① ニキ・コーンウェル/作
渋谷弘子/訳
中山成子/絵
- ② 文研出版
- ③ 1200円
- ④ 93コ014

クリストフは、ルワンダから内線をのがれてイギリスへ転校生してきました。学校では、いじめに会いますが、経験した戦争や身体に受けた傷についてのクリストフの話がきっかけとなり、まわりの子どもたちも変わっていくようすが描かれています。戦争やいじめについて考えさせられる一冊です。

15 ゾウがとおる村



- ① ニコラ・デイビス/文
アナベル・ライト/画
もりうちすみこ/訳
- ② さ・え・ら書房
- ③ 1300円
- ④ 93テ014

インドの少年ウィレンの住む村は、野生のゾウが食べ物や水を求めて移動する通り道になっていました。ゾウが通るたびに、建物は壊され作物はあらされます。ゾウと人間は互いに仲良く暮らすことができるのでしょうか。人間と野生動物の共生について深く考えさせられる物語です。